

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	もりもりの森 メディパーク高知駅			
○保護者評価実施期間	2026年1月26日		～	2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2025年2月18日		～	2025年3月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月27日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
	1. 言語に特化した支援が行えてる。 2. 各種標準化されている検査を用いて定期的に利用児童のアセスメントをおこない、個別の支援が行えている。 3. 各種検査をおこない、利用児童の強み弱みを客観的数値から導いている。 4. 利用児童だけでなく、保護者支援と訪問支援も並行しておこなっている。 5. 1歳半からの検査結果に基づく、超早期療育の実施が可能。 6. 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士、公認心理師、保育士など全職員国家資格を保有している。 7. 職員一人一人の質が高い。 8. こまめに保護者と面談をおこなっている。毎年、大規模保護者会を行い、大規模相談会が開催されている。	1. 子供たちが日々楽しく課題に取り組めるように、支援方法や教材を利用児童の様子や学習結果などを工夫して取り組んでいる。 2. 実施者によってやり方が変わらないように、背景や検査結果、支援目的、支援方法を共有している。 3. 子供の学習時に常に楽しめる境涯と後続刺激を調整している。 4. 利用児童の力に合わせた、支援プログラムをオーダーメイドで立案している。 5. 全利用児、毎月支援会を開催し、進捗状況の確認と課題の修正を細かくおこなっている。 6. 常にPDCAサイクルを回し、内容等の固定化が起きないようにしている。	1. 技術研修、学会参加・発表、認定研修など、利用児童の利益につながるように、日々法人としても自己研鑽をおこなっている。 2. より児童の個性に合わせた支援の質と技術レベルの向上を法人として勤めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
	1. 一日を通じて利用児童が来られているので、全職員で集まった時間が1時間単位等の隙間時間になるも、その時間内で建設的な協議が行えるように工夫をおこなっていく。 2. 送迎サービスを行っていないが、その分の時間はカンファレンスや個別教材作成、保護者への相談支援、支援技術向上に努めている。 3. 時間帯によっては、児童数がすくなく他児と一緒に過ごす機会がない場合もある。 4. 集団ではあく個別支援となっているので、集団中での反化が難しいことがある。	全利用児童への個別支援と統一した技術提供をこなっていくためにも、送迎サービスの実施はおこなっていない。それに伴い、同じ時間帯に在籍する児童数がすくあいこともあり、集団場面での反化が課題となってくる。	時間を工夫して短い時間で協議と討議、決議等をおこない、より児童へ質の高い支援が行えるように努めていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		もりもりの森 メディパーク高知駅		公表日		2026/3/3			
		利用児童数		43		回収数		21	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21							
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	1		2				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21							
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21							
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21							
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20			1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21							
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20				1			
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20				1			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20				1			
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6		1		14			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21							
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21							
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19				2			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21							
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21							
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21							
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	2			6			
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21							
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21							
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19				2			
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21								

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	もりもりの森 メディパーク高知駅		公表日		2026/3/3	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	5	中心となって立案している職員がおり、それをもとにおこなっている。	協議はチームでおこなっているので、今後も継続しておこなっていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	1	5	個別で支援を行っているので、集団活動を必ず組み合わせるとなると難しい。	

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17		1	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6			15		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			4		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	3			色々と工夫してレッスンをさせていただいてとても楽しいようです。	今後ともご利用されるお子様が楽しく学べるよう、工夫を継続していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21				困ったときにすぐ相談でき、助言頂けるので一人で悩むことが少なく、本当に助かっております。入り口に時計があるとありがたいです。	今後とも保護者様のお悩み事に対応できるよう、体制を継続していきます。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		6	個別対応となっており、毎月全利用時のカンファレンスをおこなうなかで情報共有と協議をおこなっている。気づいた点は終了後ではなく適時共有と検討をおこなっている。	継続的にお子様への支援内容の協議を続けてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	園などと併用して利用している児が殆どだが、通所時間内に交流することが今はできていない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		家庭連携や、日々のLINEでのやりとりの中で、話を聞く機会や助言をする機会を設けている。	継続してまいりたいと思います。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		相談内容などに応じて面談の機会を設けたり、情報共有したりしている。	継続してまいりたいと思います。

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	地域との交流は、現状は企画ができていない。 ご利用される児童の来所時間がバラバラで、一斉に集まるとの開催などは難しい。	今後検討してまいりたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	もりもりの森 メディパーク高知駅			
○保護者評価実施期間	2026年1月26日		～	2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2026年1月26日		～	2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	2026年1月26日		～	2026年2月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	35	(回答施設数)	24
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月27日			

○ 分析結果

事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
<p>○アセスメントをとり、個々の力に応じた支援ができる。お子さん・家庭・園、のすべてに対して支援ができる。早期療育ができる</p> <p>○有資格者のみで専門的な知識を持っているものお話しで話をすることができて支援ができています</p> <p>○通所支援をおこなっている児童が訪問支援を併用されており、レッスン室だけではなく、集団場面でのアプローチを現場の先生方と協議の上進めることができます。</p> <p>○訪問(集団現場)で困っていることを、個別学習の中で学び園・学校生活に還元できる機会がある。</p>	<p>○月に1度の全員の支援会、課題についての検討、ABAの研修をしている</p> <p>○月に1度の全員の支援会、毎週の訪問会での利用児童の共有と課題の検討、ABAの研修等をしている。アセスメントに基づいた、個人に合わせた課題を設定して、協議などを重ねている。</p> <p>○訪問では外部に出て、職員間でコミュニケーションをとることが難しいことがあるが、週に1回は、時間を長く持って利用児童や訪問先からの要望や質問に協議して事業所として返答するようにしている</p>	<p>○もう少し研修の頻度をあげる。職員のスキルに応じた研修</p> <p>○訪問での様子を共有して、事業所での支援に反映していく</p> <p>○訪問先の先生方とお子様のお時間を最優先に、限られた時間の中で訪問支援のできることを検討し、協議を重ねていきたい。</p>

事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
<p>1. 一日を通じて利用児童が来られているので、全職員で集まった時間が1時間単位等の隙間時間になるも、その時間内で建設的な協議が行えるように工夫をおこなっていく。</p> <p>2. 送迎サービスを行っていないが、その分の時間はカンファレンスや個別教材作成、保護者への相談支援、支援技術向上に努めている。</p> <p>3. 時間帯によっては、児童数がすくなく他児と一緒に過ごす機会がない場合もある。</p> <p>4. 集団ではあく個別支援となっているので、集団の中での反化が難しいことがある。</p>	<p>1. 全利用児童への個別支援と統一した技術提供をおこなっていくためにも、送迎サービスの実施はおこなっていない。それに伴い、同じ時間帯に在籍する児童数がすくあいこともあり、集団場面での反化が課題となってくる。</p>	<p>1. 時間を工夫して短い時間で協議と討議、決議をおこないい、より児童へ質の高い支援が行えるように努めていく。</p>

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	もりもりの森 メディパーク高知駅		公表日		2026/3/3		
			利用児童数		35		
					回収数 17		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	6			11		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	13			4		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	17					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	16			1		
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	14	1		2		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	1				
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	15	1		1		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15			2		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16			1		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	15			2		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16			1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	15	1		1		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	16			1		
保護者への 説明等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16			1		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16			1		

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	14			3		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	15			2		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	16			1		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16			1		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	13			4		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15			2		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	15			2		
	28	事業所の支援に満足していますか。	17					

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名	公表日	2025/3/12
もりもりの森 メディパーク高知駅	利用児童数 /回収施設数	25人 24施設

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	24	1		<p>特にありません。</p> <p>いつも丁寧に対応して頂きました。</p> <p>見取りの時間が限られた中で、どのような支援が必要かを具体的に教えてくださったり、方法をアドバイスいただけるので、ありがたいです。</p> <p>事業所で取り組まれていること、園の取り組みについて、同じ方向性を持ってかわりか持てるよう、毎回話しをすることができ、良かったです。</p> <p>いつもの確なご指導をいただけますこと、大変有り難く思っております。今後ともよろしくお願いたします！</p> <p>事業所と園で連携がとれていると感じる。</p>	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	23	2		<p>特にありません。</p> <p>専門的知識、視点からご助言頂きました。</p> <p>いつも丁寧に具体的に話しをしていただき、分かりやすかったです。</p>	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	23	2		<p>もりもりさんでの様子や、場面毎の声掛けの仕方等を丁寧に教えてくださりありがとうございます。</p> <p>質問させて頂くことは少なかつたと思います。</p> <p>事例を混ぜながら、分かりやすく話をしてくださいました。</p>	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	14	11		<p>3歳の頃から比べて言葉が増えたことはもちろん、会話のキャッチボールや発音、自分のやりたい事を言葉として伝える力等が大きく成長したと感じます。</p> <p>共有はできた部分がありました。</p> <p>困りごと等に対して、園の方について共感や助言をしていただけた点は良かったが、訪問支援を利用したことが直接的に解消・軽減に繋がったかどうかは分からない。訪問支援含め、もりもりの森でのレッスンや、家庭や園での生活・取り組みなど全体を運して見ると解消・軽減された点はいくつかある。</p> <p>園での課題を事業所でも実践していただき、本児も経験値をあげることができたと思います。</p>	
5	事業所からの支援に満足していますか。	21	4		<p>特にありません。</p> <p>本児の課題を的確に捉えて、対応してくださっていると思います。</p> <p>子どもに合わせた支援を行っていると思う。</p>	

其他のご意見	ご意見を踏まえた対応
<p>特にありません。</p> <p>今後共益しくお願いたしますm(_ _)m</p> <p>もりもりさんでげん音が活動している様子を、実際に(もしくは動画で)見させていただく事は可能でしょうか？少し気になる程度ですので、悪いようでしたら構いません。</p> <p>月に2回の訪問は、子どもたちの成長できる期間が短いと感じます。少し、期間があくと、できる事も増えたりなどの姿が見られるのでは</p>	

ないでしょうか。
少し時間が足りないと思うときがあった。
いつもご丁寧な対応して頂きありがとうございます。
いつも丁寧にお話を聞いて下さりまたアドバイスも貰い実践し、子どもの成長に繋がっていています。いつもありがとうございます。
昨年度のアンケートで訪問支援の様に担任としての立ち位置が分からなかったということを書かせてもらい、今年度始まる前に説明をして
いただいていたので過ごしやすかった。また、今年度は特別支援担当保育士が側について居られたため、前年度よりも十分に普段の本児の
姿や保育士との関わりを見てもらえたり、支援員さんと話をする時間がとれたりできたので良かったと思う。
毎月の訪問、ありがとうございました！
いつも、丁寧なアドバイスや支援方法をご助言いただきまして、ありがとうございます。通所支援事業所と情報を共有しながら有効的な支
援の実践を積み重ねていきたいと思います。

ご支援の円滑な方法、時間や頻度にきまして、ご訪問先の先生方と協議をさせていただけながらご無理のない範囲で行えるように改めてお
相談をさせていただければと思います。

訪問頻度につきましても、ご訪問先の先生方や、保護者様のご意向を含めてご検討をさせていただければと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		もりもりの森 メディパーク高知駅		公表日		2026/3/3	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 ・ 運 営 ・ 備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2				
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	2				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	2				
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	2				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		2			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	2				
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	2				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2				
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	2				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	2				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。		2			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		2			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	2				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	2					

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		2		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2			
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	1		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
訪問先施設	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2			

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	1		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2			